

建築構造用高降伏点鋼板 BT-HT400C、BT-HT500C

超高層建築物の柱のように、弾性範囲内で設計される部材・部位に最適な鋼板です。



特長

1. 同じ強度クラスの鋼材と同等の溶接性と施工性を有しています。
2. 許容応力度の基準強度（F値）は400N/mm²（BT-HT400C）、500N/mm²（BT-HT500C）であり、SN490（F値325N/mm²）に比べて23%（BT-HT400C）、54%（BT-HT500C）高い基準強度を確保しています。
3. 板厚が40mmを超えても、F値の低減が不要です。
4. 靱性（シャルピー吸収エネルギー）は0℃で70Jを保証しており、SN490（0℃ 27J）より、高い靱性を確保しています。
5. 本鋼板の使用は、時刻歴応答解析等の構造計算によって、建築基準法の定める極めて稀に発生する地震動に対して安全性を確認した部材に限ります。（BT-HT400C）
6. 本鋼板の使用は、平成12年建設省告示第1461号に規定された風圧力及び極めて稀に発生する地震動に対して、材料の許容応力度以下にあることを確認した部材に限ります。（BT-HT500C）

適用厚さ 19mm以上100mm以下

規格概要

種類	Ceq (%)	P _{CM} (%)	降伏点 又は耐力 (N/mm ²)	引張強さ (N/mm ²)	降伏比 (%)	伸び [試験片] (%)	シャルピー吸収 エネルギー [0℃] (J)	Z絞り (%) [平均値]
BT-HT400C	0.40 以下	0.26 以下	400以上 550以下	490以上 640以下	90以下	t≤50 21以上 [1A号] 40<t 23以上 [4号]	70以上	25以上
BT-HT500C	0.44 (0.47) 以下	0.28 (0.30) 以下	500以上 650以下	590以上 740以下	90以下	26以上 [5号] 20以上 [4号]	70以上	25以上

() 内は厚さ40mm超

許容応力度の基準強度の指定値

種類	基準強度 (N/mm ²)
BT-HT400C	400
BT-HT500C	500

大臣認定番号

種類	認定番号 (取得日)
BT-HT400C	MSTL-0186 (平成19年4月27日)
BT-HT500C	MSTL-0209 (平成20年2月 8日)

ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。